

第1回 (H30. 1)

大晦日今昔

我々団塊の世代が子供の頃のことです。大晦日と言え、子供たちは大掃除の手伝いをし、お風呂に入って、新しい下着に着替えます。夕食はちよっとしたご馳走です。そして、炬燵に入りみかんをむきながらレコード大賞、続いて紅白歌合戦を見、ゆく年くる年の除夜の鐘を聞きながら、年越し蕎麦を食べるとというのが定番でした。紅白歌合戦の途中で眠ってしまっても、蕎麦が出来上がるころには母親にたたき起こされ、十二時を過ぎると家族で互いに新年の挨拶を交わしていました。

あれから半世紀が過ぎました。振り返れば、夕刻から新年まで、家族全員が一つの部屋に集い、一台しかない白黒テレビを見ながら一緒に過ごしていました。今では望むべくもない、ちよっと懐かしい光

景です。さて、みなさんのご家庭の年越しはどんな感じでしょうか。